

退職者会報

平成24年
4月1日
第144号

一般社団法人 和歌山県職員退職者会
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地(県庁本館4階)
電話・FAX (073) 428-2090
E-mail:w-taisyoku@ec5.technowave.ne.jp

第33回

つれもて 総会へ行こう！

～語り合い～笑い合い～励まし合い～

総会の開催ご案内

陽春の候 会員の皆様には、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本会の運営・活動にあたり、日頃から格別のご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、平成24年度の総会を次の通り開催いたしますので、お誘い合わせの上、ご出席下さい。

なお、各支部の総会も、下記の通り開催されますので、ご出席下さい。

総会後には、交流懇親会も開催いたしますので、お互いの生活や健康などを語り合い、ご無沙汰を埋める機会にさせていただきますようご案内いたします。

平成24年4月1日

一般社団法人 和歌山県職員退職者会

会 長 中 村 昇

日 時 平成24年5月22日(火)
午後2時00分 開会

場 所 ルミエール華月殿
(和歌山市屋形町2-10)
TEL:073-424-9392

・議 題

- (1) 平成23年度事業報告と収支決算報告
- (2) 平成24年事業計画(案)と収支予算(案)
- (3) 役員の改選について
- (4) その他

・交流懇親会 会費 5,000円

※出・欠席につきましては、別添「返信用はがき」で5月10日(木)までに必ずご返事をお願いします。

※欠席の場合は、必ず「委任状」に記名・押印の上ご返送下さい。

※近況欄には、皆さんが楽しみにしている【あなたの近況】を是非お書き下さい。(次号会報に掲載)

各支部総会

支 部	月 日	場 所	支 部	月 日	場 所
和歌山	5/22(火)	ルミエール華月殿(和歌山市)	有 田	5/10(木)	湯 浅 城(湯 浅 町)
海 草	5/12(土)	か じ か 荘(紀美野町)	日 高	5/17(木)	花 ご 坊(御 坊 市)
那 賀	5/12(土)	ホテルいとう(岩 出 市)	西牟婁	4/26(木)	銀ちろ本店(田 辺 市)
伊 都	4/21(土)	橋本商工会館(橋 本 市)	東牟婁	5/11(金)	丸 新(新 宮 市)

詳細につきましては、各支部よりご案内いたします。

平成24年度の年金額は0.3% の引き下げ（地公退ニュースより）

厚労省は、1 月 27 日、平成 23 年平均の全国消費者物価指数の対前年比変動率がマイナス 0.3% となったため、法律の規定により、平成 24 年度の年金額は、0.3% の引き下げになると発表した。実施は、4 月からで、6 月支給から減額されることになっています。

また、これに加えて一体改革素案骨子では、「物価スライド特例分 2.5% を平成 24 年度から 26 年度の 3 年間で解消し、平成 24 年度は 10 月から 0.9% 減額を実施。24 年通常国会に法案提出」としている。地公退は「一般的に年金額は物価スライドすべきであり、本来水準と実水準の差が長期に存続することは不自然である。しかし、特例水準は受給者が制度変更と一体の経過措置として受け入れた経過があり尊重されるべきである。」と考えている。まして、マニフェストに明記した所得税の「老年者控除」と「公的年金控除」復元を実施せず、マニフェストに無い年金の物価スライド特例解消を先行して強行するのは許せない。引き続き要求活動を展開する方針である。

平成24年度税制改革大綱と 所得税控除（地公退ニュースより）

次年度税制の方向を決める税制改革大綱は 12 月 10 日決定された。

年金に関する所得税の「老年者控除」と「公的年金控除」復元については、退職者連合等の強い働きかけにより厚生労働省税制改正要望に記載されたが、税調では「2013 年度以降の検討課題」とされた。

（参考）

・ 2004 年の制度変更内容

- ①「老年者控除」：所得税では 50 万円、地方税では 48 万円を所得から控除する制度で所得が 1000 万円以下の 65 歳以上の者に適用されていたが、廃止
- ②「公的年金控除」：年金から一定額（年金収入の額に応じて算出される額＝定額・定率・最低保障つき）を控除する制度で、最低補償額 140 万円が 120 万円に、定額控除が 100 万円から 50 万円に改正

確定申告関係説明会

1 月 27 日（金）書道資料館

県庁を退職した人にとっては、初めての確定申告で、色々な心配もあり、また疑問点もあろうかということで、確定申告関係の説明会を開催しました。

和歌山税務署のご協力で実施、「所得税の計算方法」、「源泉徴収票の見方」、「暮らしの税情報」、「e-Tax」での送信」などの説明を受けました。

参加者は、昨年退職された人が中心で、35 名の方が参加して頂きました。また、当日仕事等の関係で参加できないので資料だけほしいという人も何人ありました。

その後、実際に確定申告書に記入する方法などを説明を受けました。

皆さん無事確定申告ができたのでしょうか？



一般社団法人への移行について

本会は、昭和 55 年 8 月 1 日に発足し、昭和 56 年 3 月 23 日に公益社団法人として、設立登記をして、現在に至っております。その間先輩の方々のご努力により、会員数も当初の 611 人から、3,000 人近くになり、大きな組織となっています。

このたびの国の公益法人制度改革に伴い、本会は、「一般社団法人」に移行することになりました。

平成 21 年度の総会において、「一般社団法人」への移行方向の決定、22 年度は手続き等の精査を行い、23 年度の総会において、手続きの一貫としての定款変更等の議決がなされました。その後、12 月に移行認可申請を行いました。その結果、和歌山県から平成 24 年 3 月 19 日付けで認可され、4 月 1 日移行登記を行いました。

今後とも、引き続きよろしくお願いします。

支部だより

那賀支部

「第4回パークゴルフ大会」

恒例事業となったパークゴルフ大会を12月10日(土)紀美野町の「のかみ ふれあい広場パークゴルフ場」で開催しました。

当日は、あいにく今年一番の冷え込みで、いつも最初の挨拶は「毎度!!」とか「ご無沙汰!! 元気にしているか?」なのに「今日は寒いなあ!!」でした。ですから参加者がちゃんと来てくれるか若干心配でしたが、徐々に会員が集合するにつれ日差しも出て、絶好とはいえないもののプレーには支障はない状況になりました。会員も予定どおりそろいました。 昨年は、他のグループもあり会場では色々な声も飛びかいにぎやかだったのに、今朝はことのほか閑散としています。ちょっとした驚きでした。

参加者は、遠路にもかかわらず本部からお越しいただいた中村昇会長ほか3名の方々を含め30名(ご夫婦での参加が3組)。

山中稔員支部長の挨拶のあと、中恵史代さんのルール説明があり、いよいよ競技開始、昨年は南北コースでしたが、今回は東西コース(少し狭くてOBが多くなるかもとのこと!! やれやれです。)で4組ずつにわかれてスタート。いくつになってもスタートはちょっぴり緊張するのは何故でしょうか。コースの所々には、今朝降りた霜の解けたあとが残っていました。

一年に一度きりという実績? がもろに出て予想どおりOBの連発!! それでもメンバーのご理解とご協力で何とか18ホールを回り終えることができました。

スコアを集計してみると、やはり何度もここを経験している方は、60台あるいは70台前半でまとめていることがわかります。

何事も日頃の成果だと痛感させられました。

これも恒例のカレーで昼食の後、表彰式です。最初に名前を呼ばれたのは、61という好スコアの中恵史代さん、2位は63の米田勝美さん、3位は64の宮本良一さん(昨年1位)でした。その後飛び賞・ブービー賞・ブービーメーカー賞・参加賞をそれぞれお渡

しして終了。ちなみにブービー賞は筆者(名前は特に秘す)。トホホ!!

寒い中での半日でしたが、やっぱり仲間はいいなあという思いと共に会場を後にしました。

日高支部

「歳忘れ」懇親会

超豪華賞品? 福引き大会で大盛り上がり!

平成23年忘年懇親会は12月9日(金)午後4時から「あんちん」で開催。来賓に東岡日高振興局長。平成24年4月に退職者会に入会してくれるであろう山下地域振興部副部長、久堀健康福祉部副部長、井本建設部副部長のお三方と県職員組合日高支部から岡野支部長、竹中書記長を迎え盛大に開かれた。

開会にあたり岩田正夫支部長から東日本大震災、台風12号豪雨災害により被災された方々に心からのお見舞いと、1日も早い復興を祈り、来年は平穏な年となりますようにとの挨拶の後、東岡局長、岡野職組支部長の来賓挨拶、玉置勝副支部長の乾杯の音頭で宴会をスタート。各テーブルで四方山話に花が咲く中、忘年会のマドンナである南方 栄さんのリードにより「カラオケ大会」が始まった。参加者は仮装グッズを身にまとい熱唱。6時頃超豪華賞品が当たる福引き大会が始まり目玉賞品の鮭、数の子、ウナギの蒲焼きなど、お目当ての賞品ゲットを願いつつ順にくじを引き一喜一憂。中にはゲットした鮭よりウナギの方が良いと物々交換をする人もいた。7時半頃に参加者全員で「星影のワルツ」を合唱したあと吉田副支部長の挨拶で幕とした。



東牟婁支部

新春研修会の開催について

日 時 平成24年1月26日(木) 15時30分～

場 所 太地町公民館

参加人数 会員18名、その他5名 計23名

演 題 「尊厳ある終末とは」

講 師 NPO法人「野菊の会」

専務理事・事務局長 清水 正 興

○研修会

・研修内容選定の経過

前回（平成 22 年度）の研修会準備会議でも「遺言書の書き方」などが候補に挙がったが、「余り触れたくない」「時期尚早」との意見があり見送った。

しかし、2～3 年前から当地域の他の団体では公証人を講師に呼び「遺言書」に関する講演会が開催されたり、また、県本部からも遺産相続に関する講師の紹介文書があった。

この様に、周囲の機運が少し出てきた中で、昨年 3 月の東北の大震災と 9 月の当地方が今まで想定すらしなかった豪雨で、新宮市、那智勝浦町、古座川町で死者、行方不明者を合わせて 40 人を超える大きな被害を受け、会員の中にも家族が行方不明になったままであったり、家屋の流失や、2 階まで浸水するなどで、未だに一家で避難生活を余儀なくされている方もおります。

これだけの被害を目の当たりにして、被害のなかった会員にも「これから何が起こるか分からない、自分だけは大丈夫、という意識は通用しない」ということを痛感した方が多くなってきていました。

そこで、今年度の研修会には「もしもの時の、自分と家族の危機管理」に関する研修内容として提案するため、「さて講師は？」と考え模索しているところへ、偶然に「後見支援に、弁護士や行政書士がサポートするという NPO 法人が立ち上がるので、明日、役員が挨拶と PR のため振興局に来るよ」という情報があり、早速、翌日にその法人に講演会開催の主旨を伝えてもらったところ、「是非、講師を受けさせて下さい」とトントントンと見通しがついてしまいました。

その後の、支部三役の新春懇談会の準備会議でも「もしもの時、というのは決して終末だけを意味するのではなく、突然の入院や、認知症を患ったときときなどもあって、その時の自分と家族の危機管理で、こころの準備は必要」と研修内容を協議したところ全員が、昨年と違って開催に向け積極的になりました。

講師の依頼先団体は、立ち上がったばかりの NPO 法人ということもありましたが、照会された講師は行

政書士として長年の経験があり、講演の中で多少の団体の PR 話題は織り込み済みとして「当を得た内容や」と異論なく決定しました。

○研修内容

研修内容について会員の興味をある程度期待しましたが、参加申込状況は例年の出席者数をやや下回り、例年のごとく集客動員力のなさが身にしました。ひょっとしたら会員同士の繋がり・縁が希薄になってきているのではないかと他力本願的な疑念と共に「まだ、触れたくない話題かも知れない」という思いも再燃しました。

演題は、「尊厳ある終末とは」という少し重たい見出しであったが、講師が「個人のプライバシーを尊重しすぎること、社会に歪みが起こり、家族や地域社会など崩壊が進んできている」という現代社会の現象についての話から、講師が今まで行政書士などの経歴から受けてきた日常生活のトラブルの相談を事例に、相続の基礎知識、遺言の方式、後見制度の概要などを説明し「誰にでも必ず来る人生の終末に向けどんなことが必要になってくるかを知ることによって、肩の荷が下り、心豊かな人生が送れるのではないのでしょうか」と結んだ。

講演会では、支部からの資料として「もしもの時に、大事な家族に最も必要な気持ちを伝えるメモになれば」と言うことで「もしもノート」（NPO 法人ライフ・アンド・エンディングセンター発行）を出席者全員に配布した。

参加者からは、研修会の後の懇親会の席でほとんどの方から「もしもの時と言うことを避けてきたような気がする。家族にも伝えることにより、家族を安心させるし、自分も安心できると、いうことを知らされた」など「大変よかった」という感想があった。

今回の研修会では、地元の日刊紙 2 社の取材があり、共に掲載されたので、欠席者の中からも多少の反響がありました。何人かは誌面の写真に写っている出席者の名前をのみの問い合わせもありましたが、多分講演内容の記事も読んで戴いたことと期待しております。



会員さんの声

大人のための絵画教室

和歌山支部 野崎 廣

私は、現職の平成3年頃から油絵を学び、特に平成7年からは、独立美術協会の佐原光先生に師事してきました。

今まで学んだことを少しでも皆さん方に伝えていきたいということで、3月から、小さい教室(090-1593-3893)を始めました。教室運営の趣旨は、

- 絵をかくことが好きなので初歩から学びたい
- 自分のペースで自由に制作したい
- 自己流で絵を描いたがいつまでたっても上手にならない
- こんな絵が描けたらいいなと思うことがあってもそんな才能がないからと諦めている方
- 絵を描きたいが時間と場所があまりとれない

このようなご不満をお持ちの方、また、絵を描くことで絵を人生の友にして、自分の個性を発見し、多くの方々と交流を深めながら芸術に触れることができ、素敵な仲間とともに時間を過ごせる場を作っていきたいと思います。

夢の中の問答(2)(前号からつづき)

那賀支部 下岡 英夫

高齢化社会

英夫 あがら子供の頃は、50歳を過ぎた^{おとな}大人は年寄りだと思っておりましたね。

M君 そうなんです。60歳になれば他の町と比べて大半は死んでしまったのです。あがらの町は漁師街で、それでも長生きする町でした。70歳になると古希といわれ、ほんとうにそこまで長生きする人は少なかったのです。

英夫 日本人が好きな織田信長が「人間五十年、^{げてん}下天の内をくらぶれば、^{ゆめまぼろし}夢幻の如くなり」織田信長の生涯を記した『信長公記』にあることばです。もとは舞曲「敦盛」の一節です。織田信長は満48歳で没しました。日本人は長らく「人生50年」を寿命と考えてきました。実際、戦後間もない1947年の平均寿命は男性が50.06歳、女性が53.96歳。明治時代までさかのぼると何と40歳代前半でした。

しかし高度経済成長と歩みを合わせるように平均寿命は延び、厚生労働省の2011年7月発表では日本人女性の平均寿命は86.39歳で、26年連続で長寿世界一、男性は79.64歳で世界4

位だった。先進国の中でも日本は急速に高齢化社会へ進んでおり、65歳以上の総人口に占める割合は23.3%となっている。一方で介護を必要としている高齢者が増加しているのも事実です。

M君 日本は世界一の長寿大国と言われ、有頂天になっていますが、それで良いのですかね、むしろ悪い点が随所に出て来ておりますね。

英夫 そうなんです。まず国の支出するお金では、23年度社会保障費総額は28兆7千79億円で一般会計歳出総額に占める割合は30.1%となりました。毎年伸びてきております。(伸び率は5.28%)

「団塊の世代」という人達が、全人口に占める割合は突出して多く年金や医療費が多額に必要となっていて、ますます、社会保障費が要ります。

戦後、日本がめざましい発展をとげてこられたのは、若い人的資源に恵まれていたからです。その人的資源も老いて、まもなく社会にとって逆に大きな負担となつてのしかかってきます。日本が今後も活力あふれた国家であるか否かのカギを握るのは、高齢化問題であります。

ある若者との会話

秋晴れの日曜日の和歌山駅のプラットフォームのベンチでのこと。三十代の若者が「ここは空いていますか」と断ってから座りました。結婚式の帰りらしく、略礼服を着て、少し酒の匂いがしました。その若者が「失礼ですが、貴方はお幾つですか」と聞いてきたので「私は後期高齢者になってから10年余り^{おやじ}経ちました」と答えました。すると彼は、「私の親翁も寝たきりになって、7年目にやっとこの春に死にました。その間母親は老老介護でそれは大変でした。死ぬ2年程前から『私のような者は国賊』や『非国民』という言葉

を良く使うようになりましたね。貴方は親翁位のお年だと思いますが、その意味を御存じなら教えて下さい。」「貴方のお父さんも戦時中を生きぬいた人達で、その言葉が出て来たんでしょね」

「長生きは金がかかり申し訳ないという気持ちから戦時中の「国賊」「非国民」という言葉が出て来たのではないでしょか」

すると急に若者は、大きな声で「あなたたちのために我々の税金が高い、税金を払ってもないのに、大きな顔をしすぎる」と悪口雑言を吐きました。「私たちも少ない年金から税金や保険料などを納めておるのです」と言いかけて黙りました。心の中では敗戦の焼け野原から日本が立ち上がり戦後の高度経済

成長を担って一心不乱に働いてきたのです。僅かばかりの年金を貰ってもよいのではないですかと思いました。

丁度運よく電車が入ってきたので「失礼します」といって乗り込みました。

おわりに

文中の「M 君」とは故松原徳雄氏で串本町出身。大正 15 年 6 月生まれ。

旧制串本商業学校 5 年生（17 歳）で陸軍少年航空兵に志願し陸軍航空学校へ入隊。昭和 20 年 4 月 16 日第 106 振武隊陸軍特別攻撃隊の隊員として 250 キロの爆弾を抱き沖縄の米艦隊に体当たりし戦死した。

国際貢献任務 ご苦労さん！ 陸自和歌山駐屯地ハイチ派遣隊員帰国

日高支部 湯 川 忠

平成 23 年 10 月 9 日、自衛隊和歌山協力会等の主催により、陸自和歌山駐屯地から人道的な国際救援活動に派遣した隊員 7 名が帰国した機会に、彼らを歓迎する報告慰労会を御坊市内で開催した。美浜町長をはじめ、国会議員秘書、日高地方選出県議、美浜町議、自衛隊支援団体等から 60 人が出席、劇務完遂に大きな拍手と感謝のエールを送った。

ハイチ共和国は、西半球の最貧国とも言われ、国民の暮らしは苦しい。一昨年 1 月 13 日、M.7 の地震が当国を襲い、23 万人の犠牲者を出す大惨事を招いた。

政府はハイチ派遣国際救助隊を編成し、国連ハイチ安定化ミッションへ自衛隊を派遣した。陸自和歌山駐屯地では、末武勝行 1 等陸尉を団長に 7 人を派遣、6 ヶ月にわたって救援活動に従事した。慰労会では、隊員が各自体験談を発表。皆さんが強調したのが、未整備の道路の実態、悪路を交通ルールなしに走り回るため、

轢き逃げ、当て逃げは日常茶飯事のことで、警察も機能せず、当てられたら不運。重機運転の隊員は、宿舎から作業現場のシャトルに全神経をとがらせた、と述べた。住民は時間の観念が無く、集合時間や資材調達に苦労を重ねた。また言葉（ハイチ語・フランス語）の壁も厚く、意思疎通に難儀したとのこと。依存心も強く自発性が薄くて、隊員たちは孤軍奮闘を余儀なくされたようです。

それでも国連ベレー帽をかぶり、日の丸を背負った自衛隊員として国連 PKO 部隊の責務を完遂された。現地では各国隊員との親善、武道通じての交流など、楽しい思い出話を語った。ちなみに、陸自和歌山駐屯地が今日まで国際貢献のため派遣した実績は、次のとおりです。カンボジア 4 人（H4～5）、東チモール 4 人（H15）、イラク 4 人（H17～18）、ハイチ 7 人（H23.2～8）となっています。防衛省は、アフリカの南スーダンの PKO へ陸自施設部隊を今年一月中旬に先遣隊を派遣した。

首都ジュバの道路整備などに活動している。今年度中に和歌山駐屯地から数名の隊員が参加するでしょう。昨年和歌山駐屯地は東日本大震災や台風 12 号被害にも迅速果敢に出動、当施設部隊の機動力を存分に発揮されました。

自衛隊に「想定外」という言葉はないと言っても過言ではない。

有事相応 国土を、国民を護る最後の砦であってほしい、と願って已まない。

常に鍛えて逞しく 福永信彦司令が率いる陸自和歌山駐屯地の発展と活躍をお祈りします。

ご苦労さま自衛隊！ 頑張れ日本！

（筆者 自衛隊和歌山協力会の元会長、
現在は訓練場・艦艇誘致専任理事）

海草支部 三宅保州（保）

青空も買いたいフリーマーケット
濡れて行こうと言えなくなった放射能
得をした気がする第五日曜日

和歌山支部 浅原 孟

雪下ろし要らない土地に感謝する
灰色の絵具で書かす高令化
今年こそトーン上げたい登り竜

和歌山支部 廣田 定子

耳・鼻・眼科首から上が忙がしい
バーゲンと聞くと買いたす不用品
始めから値切る積りの皮財布

海草支部 梅本 瑞穂

何か変小鳥が庭に来なくなり
病院へ行ける元気に感謝する
喧嘩せな夫婦なんてやれるかい

次号（七月号）は総会号となりますので、投稿等は掲載いたしません。十月号掲載投稿等は八月七日（火）までに投稿をお願いします。難解な漢字等には、ふりがなをお願いします。

「全米日系人博物館」を観て

和歌山支部 田 沼 小一郎

アメリカ カリフォルニアに移住した本県出身者が県人会を創立、昨年平成23年で100年の節目を迎え、11月13日に記念式典を催すと報ぜられていました。

昔から紀州の人々は、進取の精神、開拓者魂が旺盛でアメリカ（含むハワイ）、カナダ或いは遠くブラジル等に移住活躍しています。

このツアー募集があり申込みをしましたが、残念ながら中止、がどうしても行きたく式典には無理でしたが、目的の一つである「標題の博物館」を観てきました。当館はロス市にあり戦争中の強制収容所の体験に焦点をあてながら、現在の日系アメリカ人のコミュニティの形成、変遷の過程を紹介している初めてのミュージアムです。

当日ふるさと出身の南加州和歌山県人会副会長の交野義人さん、すが代さん御夫妻にも同行をお願いし、共に見学しました。

19世紀の後半から夢と希望を抱き言葉の不自由さもおくせず、はるばる太平洋を渡り「新天地」を求めた邦人達は、アメリカ文化や慣習を取り入れ地域との交流を図りながら、明日の成功をひたすら求め勤労に励んだことでしょう。

ところが太平洋戦争がぼっ発すると、日系人はアメリカ市民権の有無にかかわらずトランク一つで生活の拠点を追われ、強制収容所に入れられたのです。当館2階に当時の木造小屋が移築されていましたが、戦後60数年至っていますので、古びていてお粗末なバラックです。これを見て一瞬胸がつまりました。

案内してくれた日系老婦人は、父は日本人会の役員をしていたとの理由で逮捕抱禁された上、家族と離れ別の収容所へ、会えたのは戦後と涙ながらに語って

いました。

戦時中邦人達は、祖国日本への心配と、アメリカ市民であるにかかわらず24時間鉄条網の中で看視されているギャップのある生活、これらの苦悩が写真や展示に表われており、大変なご苦労だったと想像出来、自然に目頭が熱くなった。

なお、日系人で組織された442部隊は、ヨーロッパ戦線で活躍、業績が展示されていた。

ミュージアムを出るとき、無意識に「異口の丘」を口ずさんでいる自分に気が付いた。

戦後邦人達は戦前に築きあげた社会とのつながりを回復させ、今やアメリカ社会で大きな役割を果たしている。

1988年アメリカ政府は、日系人の基本的人権を侵害した誤ちを自ら認め公式謝罪すると共に、被収容者に補償金を支払う事にも同意しています。

最後に和歌山県人会は、会員数900名在外県人会の中でも最大規模と聞いています。

県人会の益々の御発展と、在留邦人のいやさかを祈り申し上げペンを置きます。



和歌山支部 西川圭三

春の雪背なを丸めて猫通る

春寒を言ひて始発の人送る

鮎子いさ子の縫れ合ひたる釘煮かな

東牟婁支部 濱喜代子

節分や赤青おたふく豆をまく

川柳

伊都支部 堀江和夫

突風が帽子盗んでもて遊ぶ

いらいらを溜めて善人しています

いつの世も正直者が荷を背負う

和歌山支部 橋本諭吉

消費税よりも話題はタイガース

リポーター何を喰っても皆ジュシー

巻すしもチヨコも溢れて不況風

高齢者を狙う悪質商法に注意!

悪質商法の被害はいまだにとどまる気配がありません。
最近、消費生活センターに問い合わせの多い相談の対処法です。

これ以外にも依然、訪問販売による未公開株や社債に関するトラブルが多いので、仕組みの理解できない金融商品を買わないよう注意するようにしてください。

●投資(節税)用マンションの勧誘電話

【手口】

「投資用マンションを購入しませんか」
「節税対策にマンションを購入しませんか」
などと言って電話をかけてきて、断っても電話を切ってくれない。

また、何回も勧誘電話がかかってくる。

【事例】

- ・話を中途半端に聞いてしまうと、喫茶店等に呼び出され、契約するまで帰宅させてもらえなかった。
- ・実際にマンションを購入してしまったが、利益が出ず、損失補填の約束は業者としていたが、業者が倒産してしまい、補填もしてもらえなくなった。

【対応】

「興味が無い」「二度と勧誘電話はかけてこないでほしい」ことをはっきりと業者に伝えて、すぐに電話を切りましょう。

はっきりと断っているにも関わらず何度も勧誘電話をかけてくる業者に対しては、宅建の免許番号をきき、監督官庁(和歌山県公共建築課や国土交通省近畿地方整備局建設部建築産業課不動産係)に相談することになります、と警告する方法もあります。

また、業者に脅されたり、身の危険を感じた時は、最寄りの警察に相談してください。

もし被害にあったら、決して一人で悩まないで相談しましょう!

相談やお問い合わせは、消費生活センターや、お近くの市町村役場まで。(相談は無料です)

和歌山県消費生活センター

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
和歌山ビッグ愛8F

電話 073-433-1551

FAX 073-433-3904

和歌山県消費生活センター紀南支所

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘2番1号
県西牟婁総合庁舎内

電話 0739-24-0999

FAX 0739-26-7943

「高齢・退職者第16回囲碁・将棋大会」の結果について

去る3月7日(水)、プラザホープにおいて県内の高齢・退職者団体相互の交流・親睦を目的に開催されました。

参加総数は46名で、当会からは8名(囲碁6名、将棋2名)が参加しました。

皆さん方は、日頃の実力を出し切った人、出し切れなかった人、それぞれ粘り強い勝負で1日を楽しく過ごしておられました。

なお、本会の土井昇蔵さんは将棋の部の審判を務められ、大会の円滑な進行、公正な対局にも活躍されました。

成績は、次のとおりです。

囲碁の部

Aクラス 3位 請川 皓雄 さん(有田支部)

将棋の部

Aクラス 2位 飯田 哲次 さん(那賀支部)

3位 土井 昇蔵 さん(和歌山支部)



俳句

和歌山支部 宮本 政昭

海猫騒ぐ潮目に春の兆しかな
賑ひてゐて閑かなり梅の山
津も浦も素描のごとく霞みけり

海草支部 岩間 文鳥

反り橋の擬宝珠によれば初蝶が
イヤリング生涯着けず藤の花
花冷の燭のゆらぎて女人堂

和歌山支部 阪上 明男

紀の山に雪の残れる梅日和
待春の寺に一人の客のあり
さわさわと朝霧流れ冬の村

東牟婁支部 尾崎 嘉代子

日本列島混沌の世の寒波
熊野霊気吸うて浮世の春を生く
裸木の黙し続けて貯む樹力

❖❖❖❖❖❖❖❖ 長寿のお祝い ❖❖❖❖❖❖❖❖

次の方々が、めでたく80歳の傘寿をお迎えになりました。益々お元気でお過ごしなされますようお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません

❖❖❖❖❖❖❖❖ 会員のご逝去 ❖❖❖❖❖❖❖❖

次の方々が、ご逝去されました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません



みなさんの広場
です。どしどし
ご応募ください。

短歌

西牟婁支部 榎本 せい子

大地震の映像時に過るとも

三月の海静かに明ける

小学生と競う米寿のランナーを

おばあさんとは誰も呼ばない

『老に克つ』『老いの才覚』立ち読みの

本の最後は『楽々往生』

那賀支部 赤井 順子

わが胸の色に咲くらむ桜花

去年の淡墨今日の薄紅

年毎に花を散らして太りゆく

桜一樹にいつまで会える

春といふまろき響を澄まし聞く

霜の解けゆく朝の光に

安いでいばんお得な保険 ～安心総合共済～

お問い合わせはすぐに退職者会事務局へ。

退職者会が取り扱っている安心総合共済は、ご自身のケガだけでなく、他人の物を壊してしまった…などの賠償責任事故や外出先での持ち物の破損…などの携行品損害の補償もあり充実していますので、この機会にご加入されることをお勧めします。

- ・日常生活のおケガ、交通事故でのおケガでも幅広く補償！
 - ・加入するのに年齢制限がなく、ご夫婦プランもあります！
 - ・同じような保険に個人で加入するよりも団体割引で3割ほど保険料が安いです！
 - ・地震や災害が原因でのおケガを補償できるタイプもあります！
- 携行品損害事故は、外出先(国内)での盗難で、現金の損害も警察への届出があれば対象になります!!

ご存じですか？

＜保険の団体加入について＞

当会で団体扱いをおこなっている保険は下記のとおりです。

現在個人でご契約されている方がいらっしゃいましたら、団体割引が適用となる場合があります。

もちろん新規でのご加入もできますので、まずは事務局までご連絡下さい。

◆アメリカンファミリー生命（アフラック）

がん保険・医療保険

◆全労済

火災・自然災害・交通災害・マイカー・医療共済

◆自動車の任意保険

東京海上日動・損保ジャパン・あいおい損保・三井住友海上

事務局からのお知らせとお願い

1. 会費の納入についてお願い[平成 24 年度会費]

・[口座から自動引き落としの方]

紀陽銀行、農協、郵便局は、5月7日(月)、その他の金融機関は、5月28日(月)が引き落とし日となります。

・[労働金庫の口座からの自動引き落としの方]

8月15日(水)が引き落とし日となります。

・[振込での納付の方]

この会報に同封の振込用紙で、5月末までに納付をお願いします。

・[3月末退職の新入会員の方]

後日、振込用紙をお送りします。

・[過年度会費が未納の方]

この際、併せて納付をお願いします。

2. H24年度版「県職員録」が5月頃発行予定

[申し込み受付中]

「県職員録」を斡旋しますので、ご希望の方は4月20日(金)までにお申込下さい。

価格は未定ですが、昨年と同程度であれば、800円位です。(郵送の場合は、別途送料350円位をご負担下さい。)

3. 会員名簿(追録)の発行について

9月に発行予定ですので、住所、電話番号、勤務先等を変更されている方は、なるべく書面(ハガキ等)で事務局までご連絡下さい。

通常総会出欠ハガキの近況欄に書き添えていただいても結構です。

4. メールでのご投稿やお問い合わせ

会報の「文芸欄、会員の声」のご投稿やお問い合わせ等メールで送信していただいても結構です。

E-mail アドレスは、

w-taisyoku@ec5.technowave.ne.jp です。

5. 常務理事・事務局長が交代

この度、4月1日から常務理事・事務局長が交代しました。

新しく中野傳治さん(平成19年退職、和歌山支部所属)が、3月23日の理事会で常務理事に互選され、着任しました。前任の大西嘉一と同様によりしくお願いします。

編集デスクより

1. 【お詫び】先に発行しました平成23年12月1日現在の会員名簿中、3頁7行目の氏名「石井具伸」は誤りで、「石井具申」が正しい表記です。訂正しお詫び申し上げます。

2. 会報に関するご意見やご要望等をお寄せ下さい。

投稿もお待ちしております。「会員の声」は原稿用紙2枚以内、「文芸・俳句等」は3句以内、その他写真等をお気軽にお送り下さい。

★次号(7月号)は総会号となりますので、投稿等は掲載いたしません。

10月号掲載投稿等は、
8月7日(火)までにお送り下さい。

